

技術資料 (TDS)

作成日 2019/12/18

・ 特質・特性

AKEMI® カラーボンドP+ (AKEMI® COLOUR BOND P+) はジェル状で、スチレンで溶解したエポキシアクリレート樹脂を基にした2液性の製品です。

下記の特性があります。

- 即硬化性 (15-40 分)
- 速乾性
- 硬化物は研磨可能
- カートリッジシステムを使用して、簡単に投与および混合が可能
- カートリッジシステムは6分用と12分用があります。
- 50色以上の幅広い色を取り揃え、多くのクォーツタイプのシームレスな接着ができます。
- 黄変しにくい
- テクノセラミックでも粘着・接着の強度が優れています
- 接着では (60-70°C)、薄被膜では (100-110°C) の耐熱接着に適しています
- 水、石油、天然油などに耐久性があります
- フードセーフで硬化後の製品は食品の接触による健康への害はありません
(ドイツテスト機関による証明済)

・ 適応範囲

AKEMI® COLOUR BOND P+はCaesarStone®, Silestone®, Zodiaq®, Corian®, 天然石、セラミック、大きいサイズのテクノセラミックのようなクォーツの接着で色を調節して使われます。

(e.g. Dekton®, Lapitec®, Neolith®, Laminam®, Kerlite®, Maxfine)

・ 使用方法

混合ノズルなし: カートリッジ装置のみです。

混合ノズル付き: カートリッジと混合ノズルで専用ガンにより同時に使用できます。

1. 接着する表面を完全に乾燥させ、表面をきれいにし、すこし粗面にする。
2. カートリッジから留め金はずし、カートリッジをガンに挿入し、両方の開口部から材料が出るまでグリップを働かせます。混合ノズルをしっかり締めてください。
最初の10センチほどは使わないでください。
3. 混合ノズルを使用しない場合は両方の成分を十分に混合してください。
4. 混合したカラーボンド P +6分は (20°C) 約5-7分間で作業を仕上げてください。
カラーボンド P +12分は10-12分で仕上げてください。
5. カラーボンド P +6分であれば約20-30分後、カラーボンド P +12分であれば30-40分後には次の作業にとりかかることができます。(研削、研磨、掘削)
6. 暖かいと硬化が速まり、寒いと遅れます。
7. 使用した道具はAKEMI®Nitro Dilutionで洗浄できます。

・ 特記事項

- 手袋を使用し手を保護してください。
- すでに可視時間が過ぎたジェル状の接着剤は使用しないでください。

- 硬化中、充填剤と熱の発性により収縮（約5-8%）が引き起こされるため、接着剤はできるだけ薄く（<1mm）塗ってください。
- 湿度や氷結に頻繁にさらされている接着部は、耐久性がなくなります。
- アルカリ性建材への適度な接着力があります。（e.g コンクリート、コンクリートレンガ）
- 硬化したカラーボンドP+はわずかに黄変する傾向があります。
- 一度硬化したカラーボンドP+は溶剤でも除去できません。機械的に、または高温（> 200°C/ 392° F）でのみ物理的に除去できます。
- カラーボンドP+12分は20°C以下の環境では使用できません。
- 混合ノズルはAMEMI専用ノズルを使用してください。
- 使用後は混合ノズルをはずし、付属の留め具で閉じてください。

新しい混合ノズルを締める前に、両方の開口部から材料が出ていることを確認してください。

・ 技術データ

	6分タイプ	12分タイプ
色	複数（50数種類）	
比重	約 1.10 g/ cm ³	
可使時間（硬化剤を混合してから使用できる時間（分））		
2%の硬化剤添加の使用		
10°C（霧囲気温度）	10-16	---
20°C（霧囲気温度）	5-7	10-12
30°C（霧囲気温度）	3-5	5-7

引張り強度 EN ISO 527 :	40-45N/mm ²
曲げ強さ DIN EN ISO 178 :	70-80N/mm ²
圧縮強度 DIN EN ISO 604 :	100-110N/mm ²

- ・ 保管期間 約 1 年密閉された容器、低温場所での保管に限る
- ・ 健康と安全 使用前に MSDS を一読ください
- ・ 重要な注意事項

上記の記述は技術開発と適応技術を基本としていますが、使用に当たっては多種多様の要因が考えられるので、まず、テストピースにて予備テストをしてから確認の上 使用してください。